

平成 23 年度 河川レンジャー活動経過報告

平成 23 年 10 月

福島管内河川レンジャー

辻川 松子

池宮 實

毛馬管内河川レンジャー

三輪 栄子

石山 郁慧

崎谷 久義

(協力)河川レンジャーアドバイザー

菊井 睦夫

目 次

○辻川河川レンジャー活動実施報告

1. 辻川R・灘高水質調査	・平成23年4月1日(金)	1
2. 辻川R・十三干潟水質調査	・平成23年4月～9月	2
3. 辻川R・干潟探検野中小	・平成23年6月14日(火)	5
4. 辻川R・よどがわ大学防災講演	・平成23年6月26日(日)	7
5. 辻川R・よどがわ大学防災フィールド	・平成23年7月3日(日)	9
6. 辻川R・十三干潟リバースクール	・平成23年7月31日(日)	11
7. 辻川R・十三中学校防災紙芝居づくり	・平成23年8月10(水)～31日(水) . . .	13
8. 辻川R・干潟であそぼ	・平成23年8月7日(日)	16
9. 辻川R・第二室戸台風講演	・平成23年9月17日(日)	19
10. 辻川R・十三中学校防災紙芝居づくり	・平成23年9月26日(月)	22

○池宮河川レンジャー活動実施報告

11. 池宮R・淀川探訪ウオーキング	・平成23年4月13日(水)	23
12. 池宮R・十三小学校の十三干潟体験	・平成23年6月28日(火)	25
13. 池宮R・淀川図書館生きもの教室	・平成23年7月23日(土)	27
14. 池宮R・防災を考える(防災ｽｷﾝ)	・平成23年9月10日(土)	29

○三輪河川レンジャー活動実施報告

15. 三輪R・伏見探索	・平成23年4月22日(金)	31
16. 三輪R・堀川小学校地域連携	・平成23年6月12日(日)	33
17. 三輪R・北区役所防災とお魚探し	・平成23年8月1(月)～8日(月)	35

○石山河川レンジャー活動実施報告

18. 石山R・淀川の淡水魚を知る	・平成23年5月21日(土)	37
19. 石山R・生きものクラフト	・平成23年8月6日(土)	39

○崎谷河川レンジャー活動実施報告

20. 崎谷R・話と工作教室	・平成23年8月21日(日)	42
21. 崎谷R・入門講座干潟体験	・平成23年8月28日(日)	44

○河川レンジャー研修実施報告

22. 水辺の安全講座	・平成23年6月22日(水)	47
-------------	--------------------------	----

○菊井河川レンジャーアドバイザー活動実施報告(8月7日活動中止)

1. 辻川R・灘高水質調査

・平成23年4月1日(金)

1.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	高校生が学ぶ川環境			
担当	福島出張所管内	辻川河川レンジャー		
開催日時	平成23年4月1日(金)13:00~16:00			
参加人数	参加総数	12名		
	一般参加者 河川レンジャー	11名 1名	教諭2名、学生9名	
スケジュール	13:00	集合		
	16:00	解散		
実施場所	十三干潟	水路	西中島公園	再生干潟 大堰

1.2 事前活動

各種資料	毛馬第一閘門<発行:河川事務所>		
関係機関からの 支援内容	河川事務所 都市文化研究所	資料の提供 灘高校生徒会との調整	
レンジャーの活動内容	フィールドワーク 都会にある自然環境		

1.3 活動状況



十三干潟全景



活動のようす

1.4 意見・課題

参加者からの意見	<p>今回の淀川フィールドワークは私たちが「人間と自然はつながっていて不可分である」という言わば当然ではあるが非常に重要な事実気付く事ができた、非常に貴重な機会であったと思います。</p> <p>大阪の都心にまで川が迫っているリアルな地図を何回見るよりも、実際に都心の近くで川が息づき、豊かな生態系が展開されているのを自分の目で、見る方がどれほど価値があるでしょう。(灘高生徒感想文より)</p>
今後の課題	<p>急な申し出で実施致した事業であるため 事務局への連絡が当日になりました。</p> <p>事故もなく無事終了しましたが 安全性等を鑑みるとき企画の充実を図ることが大事であると考えます。</p> <p>一方で 柔軟性をもつ対応も不可欠だと考えます。</p>

2. 辻川R・十三干潟水質調査

・平成23年4月～9月

2.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	十三干潟水質調査		
担当	福島出張所管内	辻川河川レンジャー	
開催日時	平成23年4月～9月		
参加人数	参加総数	16名	
	4月30日(土)10:00～11:00	3名	
	5月29日(日)8:00～9:00	3名	
	6月26日(日)8:00～9:30	1名	
	7月31日(日)8:30～16:00	(100名)	リバースクール内 15:10 から
	8月28日(日)8:15～9:30	4名	
	9月25日(日)8:15～9:30	5名	
主な調査内容	十三干潟での採水		
	パックテスト用具の準備		
	淀川水質の評価		
実施場所	十三干潟付近		

2.2 事前活動

各種資料	辻川作成・・・記載票 河川事務所・・・みんなの淀川を、みんなで守ろう！				
関係機関からの支援内容	河川事務所・・・パックテスト試薬				
レンジャーの活動内容	(4月30日(土)) 水質については概ね昨年と変化はありません。ヨシも少しずつ新芽がでてきました。 簡単に捨てるゴミは拾い持ち帰るものの、手におえないゴミも多く改めて住人の川環境意識の必要性を感じました。また、活動を通して啓発の重要性を感じたところです。水鳥が元気に泳ぐ姿に、自然の豊かさを実感しました。				
		アンモニウム	pH	COD	DO
	十三干潟	0.05	7.0	13	7.0
	測定時間	5分	20秒	5分	2分
	(5月29日(日)) 調査票の作成、参加者への連絡、測定の結果のまとめ (十三干潟付近 気温 19℃ 水温 18℃)				
	1. アンモニウム	0.5mg/l			
	2. COD	10.0mg/l			
	3. PH	7.0			
	4. DO	9.0mg/l			
(6月26日(日))					
	アンモニウム	pH	COD	DO	
十三干潟	0.2	7.5	5	9	
測定時間	5分	20秒	5分	2分	
(7月31日(日)) 水質試験結果: 気温 29℃ , 水温 31℃					
	1. アンモニウム	0.2mg/l			
	2. COD	15.0mg/l			
	3. PH	7.0			
	4. DO	7.0mg/l			

(8月28日(日)) 水質試験結果:気温 30℃ , 水温 29℃				
	アンモニウム	pH	COD	DO
十三干潟	0.2mg	7.0	13.0mg	9.0mg
測定時間	5分	20秒	5分	2分
(9月25日(日)) 水質試験結果:気温 24℃ , 水温 23℃				
	アンモニウム	pH	COD	DO
十三干潟	0.2mg	7.0	13.0mg	9.0mg
測定時間	5分	20秒	5分	2分

2.3 活動状況

(4月30日(土))



新芽のヨシがシジミの殻を巻き込んでいる様子

(5月29日(日))



8:34 淀川水質の結果を整理

(8月28日(日))



水質調査の風景

(5月29日(日))



8:13 十三干潟での採水の様子

(7月31日(日))



水質試験の風景(親子リバースクール内)

(9月25日(日))



水質試験の指標数値のチェック

2.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>(4月30日(土)) ヨシの根っこ(新芽)の青さと 枯れ色のコントラストがきれい。</p> <p>(5月29日(日)) アンモニウムやCODの数値が高く、川が汚れていることを実感。一方DOは、清流に近い値で有ることを知り感激しました。</p> <p>(8月28日(日)) 水上スキーの往来で「人は勿論のこと 魚もびっくりやね・・・」 津波の様な波の様子を体感しました。 初めて参加して波のすごさにびっくりしました。 前日の豪雨で水量も多く 見た目では薄茶色く濁っているように感じました。 一方DOの基準値では9以上の値があり水環境が良い方向にあることを感じました。</p> <p>(9月25日(日)) 台風12号・15号と 立て続けにきた台風の影響もあって 水質も雨水状で有るものの これまでのデータと概ね変動は有りません。 釣り人と 水環境について意見交換。 魚が取れなくなった コミが多くなった 特に季節の良いこの時期に使い放題等河川敷の保全と水環境の大事さを改めて感じました。 7連に繋がったスギを見て嬉しくなり 思わず記念撮影をしました。 花火に来た人が残して行った炭火後 参加者マナーの悪さを感じます。 四葉のクローバーを見つけ 幸せな気持ちになりました。 堤防や野犬水路付近の雑草が気にかかります。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>(4月30日(土)) 予定日雨天 周知が不十分の中で実施 周知の徹底が必要。</p> <p>(5月29日(日)) <感想> 台風2号の発生と振り続ける長雨と強い風の中で、厳しい水質調査となりました。 水を汲み15分程度移動し、近隣の施設の軒先で調査を開始致しました。 水質の状況は、上流域で行われている800トンからの放流で流れも速く、透明度も低く濁っているように感じました。 また、それらの影響はアンモニウムや、CODの数字に反映されていると考えます。 一方DO基準値からみる値は、清流に近い位置にあり心を弾ませました。 但し、バケツに汲んだ水を揺られながら約15分程度移動させているため、若干値の誤差があるのではと危惧致します。この様な状況で参加して頂いた方々に感謝致します。</p> <p><課題> 今回、悪天候の中で実施致した事業は、様々な状況を想定して調査することの意義を鑑み実施致しました。 しかし、事故に繋がる事例を考えた時、リスクも大きく今後の検討課題と致します。</p> <p>(6月26日(日)) 水質は良好です。 他事業の重なりのために単独での調査になりましたが、水質だけでなく河川敷をゆっくり把握することが出来ました。またカニの数が少なくなっているシジミが少なくなっている状況を目でみて体感することができました。 この事が自己の研鑽に繋がっていると考えます。</p> <p>(8月28日(日)) 地味な事業で多くの参加者が見込めませんが 一回一回の調査を大切に し 河川敷の状況把握と水質調査の記録を残して行きたいと考えて居ります。</p> <p>(9月25日(日)) ただただ実施事業をどの様に広報し集約するかが課題と考えます。</p>

3. 辻川R・干潟探検野中小

・平成23年6月14日(火)

3.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	リバーウォッチャー 淀川探検隊		
担当	福島出張所管内	辻川河川レンジャー	
開催日時	平成23年6月14日(火)8:30~12:30		
参加人数	参加総数	105名	
	一般参加者	90名	教師4名、児童86名
	河川レンジャー	1名	辻川レンジャー
	スタッフ	4名	地元地域安全3名 区・生涯学習推進員 1名
	自治体	8名	区・生涯学習担当2名 区・市民協働グループ セーフティーよどがわ(地域安全対策) 6名
出張所	1名	宮嶋係長	
運営事務局	1名		
スケジュール	9:25	淀川現地に向けて移動	
	9:41	距離標と堤防植生の説明	
	10:07	スタッフによる植物種クズほかの解説	
	10:34	干潟の生きもの観察の開始	
	10:59	水質のバックテストと透明度の調べ	
	11:09	コドラート(枠取り)による生物個体数の調べ	
	12:20	レンジャーによる活動のまとめ	
実施場所	野中小学校~十三干潟		
			

3.2 事前活動

各種資料	<ul style="list-style-type: none"> ・企画書及び行程表 ・事前学習教材 よどがわ発見★伝 ・水質調査票
関係機関からの支援内容	<p>河川事務所より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水質調査試薬 ・透視計 ・ライフジャケット ・マイク ・手洗い用 水・タンク <p>区役所より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手洗い用プール ・移動時の安全確保(引率及び見守り)

レンジャーの活動内容	学校より西中島公園まで直行→西中島ヨシ原の説明→野犬防止水路の説明→トイレ(休憩)→十三干潟について・汽水域について・野草苑について・堤防の必要・河川敷で生殖する草花の紹介→ライフジャケット装備→十三干潟で生きもの探検(ヤマトシジミを見つけてみよう) ライフジャケット返却→学校へ向け帰路 (測定結果)				
		アンモニウム	pH	COD	DO
	十三干潟	0.5	7	10	9

3.3 活動状況



10:59 水質のパックテストと透明度の調べのようす



11:09 コドラート(枠取り)による生物個体数の調べ

3.4 意見・課題


参加者からの意見	振り返りシート回収
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・安全の確保を得るためにライフジャケットを着用。干潟が泥化しているためライフジャケットの片付けに時間を要した。 ・透視計の部品不足で測定することが出来なかった。当方が整備されているものと思ひこみ、事前の確認を怠ったことが原因と反省する。 <p>(学校から出された意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の服装を水着の着用とする。 ・靴について厚手の靴下が良いのではないかと <p>以上の点を今後の課題として上げます。</p> <p>(まとめ)</p> <p>「川の恐ろしさと自然の豊かさを伝えたい」からはじめた事業として。これまでの授業「見る・伝える・聞く」から、4年生児童の全てが身近に流れる母なる川、淀川の自然にふれ体感し、実感できたことを目的として「見る・伝える・体感する」へ授業内容を移行させる。普段体験の少ない子どもたちにとって、今回の授業でし得ることのない体験を五感で体感できたと考えます。この経験が成長の一コマになってくれることを期待し、豊かな心の育みを願うところです。</p>

4. 辻川R・よどがわ大学防災講演

・平成 23 年 6 月 26 日(日)

4.1 実施状況

<テーマ：淀川区役所との連携 「淀川河川敷フェスティバル第 10 回記念事業」 >

テーマ	よどがわ大学 2011 第 1 回「東日本大震災から学ぶ」		
担当	福島出張所管内	辻川レンジャー	
開催日時	平成 23 年 6 月 26 日 (日) 14:00~16:00		
参加人数	参加総数	106 名	
	参加者 河川レンジャー 講師 (基調講演・パネルディスカッション) 講師 (パネルディスカッション) 協力スタッフ 事務局	90 名 1 名 1 名 3 名 10 名 1 名	(大人 90 名) (辻川 R) (橋本豊治 氏 [淀川河川事務所副所長]) (金井文宏 氏 [(株)都市文化研究所 代表]) (乃美夏絵 氏 [淀川通信舎「ザ・淀川」編集長]) (金谷一郎 氏 [大阪市淀川区長]) (淀川区役所)
スケジュール	11:00 14:00 14:05 15:05 16:05 16:10 16:15	<p>スタッフ集合 (淀川区役所 5 階会議室)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場準備 ・講師対応 <p>開会 (13:00~開場：聴講者入場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催者挨拶 辻川 氏 (淀川フォーラム実行委員会副委員長、河川レンジャー) ・被災地へ、被災された方々に対し黙祷 ・講師紹介 (基調講演講師：橋本副所長) <p>基調講演「石巻市での復旧活動を通じて」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演後、聴講者からの質問 <p>パネルディスカッション「淀川があふれたら」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター挨拶 (辻川レンジャー)、パネリスト自己紹介 ・パネリストによるお話 橋本 氏「淀川の堤防の高さについて」 金井 氏「石巻市への社員派遣での報告」 乃美 氏「被災地への炊き出し支援に赴いて」 金谷 氏「住みたい、住み続けたい淀川区のまちづくりについて」 ・意見交換 ・聴講者からの質問 <p>まとめ</p> <p>次回「よどがわ大学 2011 第 2 回」の案内</p> <p>閉会</p>	
実施場所	●淀川区役所内 5 階会議室		
			

4.2 事前活動

各種資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基調講演資料（パワーポイントスライド印刷） [講師：橋本豊治 氏提供] ・ 淀川区防災マップ ・ 市民防災マニュアル ・ 淀川大学 2011 第 2 回案内
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 淀川河川事務所（講師派遣 他） ・ 淀川区（資料提供、資料印刷）
レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講師依頼と調整（資料提出を含む） ・ パネラーへの依頼と調整（資料提出を含む） ・ 配布資料の調達

4.3 活動状況



主催者挨拶：辻川 氏（淀川区ならびに河川レンジャーとして）



基調講演「石巻市での復旧活動を通じて」
講師：橋本豊治 氏



基調講演「石巻市での復旧活動を通じて」
講師：橋本豊治 氏



パネルディスカッション：各パネラーからのお話
「被災地への炊き出し支援に赴いて」
パネリスト：乃美 氏

4.4 意見・課題

参加者からの意見	<p>アンケート自由意見より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演会・実体験談への賞賛や意見(23 人) ・ 自然災害・防災に対する自覚や意見(16 件) ・ 地域づくり・コミュニケーションに対する自覚や意見(5 人) ・ 淀川の自然に対する自覚や意見(3 人)
今後の課題	<p>基調講演及びパネルディスカッションの内容についての成果は大きく充実した事業として終わることができ ご協力いただいた方々に感謝いたします。</p> <p>その中で 課題を見つけるならば 区・防災担当や右岸水防事務組合等を巻き込んだ事業の展開を図ることで 一人でも多くの方々に聴講していただけたのではないかと考えます。</p>

5. 辻川R・よどがわ大学防災フィールド

・平成 23 年 7 月 3 日(日)

5.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	よどがわ大学第2回フィールドワーク「淀川があふれたら～防災みてるき」		
担当	福島出張所管内	辻川河川レンジャー	
開催日時	平成 23 年 7 月 3 日(日) 14:00～19:00		
参加人数	参加総数	48 名	
	一般参加者	33 名	大人 33 名
	河川レンジャー	3 名	辻川レンジャー、菊井 R アドバイザー、池宮レンジャー
	講師	1 名	金井文宏氏 (都市文化研究所)
	スタッフ	3 名	津波・高潮ステーション職員 2 名 都市文化 1 名
自治体 運営事務局	7 名	淀川区金谷区長他職員	
	1 名		
スケジュール	13:56	津波・高潮ステーションでの講義の開始	
	14:19	海水面より低い住宅地の実物模型	
	14:22	大阪を襲った風水害の履歴画像	
	15:32	質疑に応答する金山区長	
	16:13	両川口津波碑の見学	
	16:49	尻無川水門の見学と解説	
	17:25	阪神大震災で壊滅した西島堤防の復旧の話	
	18:39	淀川大堰における津波・高潮への対応	
実施場所	津波・高潮 ST～両川口津波碑～尻無川水門～西島堤防～淀川大堰		
	<p>The map shows a red route starting at '津波高潮 ST' (Tsunami/Typhoon Station) in the center-right, moving west to '両川口津波碑' (Ryūkaikuchi Tsunami Monument), then south to '尻無川水門' (Shirunogawa Water Gate), then north to '西島堤防' (Sejima Dike), and finally east to '淀川大堰 (最終地点)' (Yamato River Weir, Final Destination). The route follows the Yamato River and its tributaries.</p>		

5.2 事前活動

各種資料	2011 よどがわ大学旅のしおり、西島堤防に関する資料、防潮扉の必要性（淀川河川事務所）、津波・高潮ステーションガイドブック、もし津波が来たら・・・、非常持ち出し品チェックリスト（津波・高潮ステーション）、地震対策は万全ですか？（消防署）大地震両川口津浪記解説資料（振興町会）、携帯トイレ、ウエットティッシュ（淀川区役所）、アンケート用紙
関係機関からの支援内容	資料の提供（防潮扉の必要性）・・・淀川河川事務所 物品の提供 携帯トイレ、ウエットティッシュ・・・淀川区役所 地震対策は万全ですか？非常持ち出し品チェックリスト・・・淀川消防署 主催：淀川フォーラム実行委員会、淀川区役所 共催：淀川区未来わがまちビジョン推進委員会
レンジャーの活動内容	スケジュールのとおり

5.3 活動状況



16:13 両川口津波碑の見学



16:49 尻無川水門の見学と解説



17:25 阪神大震災で壊滅した西島堤防の復旧の話



18:39 淀川大堰における津波・高潮への対応

5.4 意見・課題

参加者からの意見	特になし
今後の課題	今日課題を取り入れた事業の実施が実現できた事は 大きな成果として自己評価したいと考えています。 一方 市民協働と言いながらも 区役所防災担当や毛馬出張所等の行政間との連携が十分取れなかったことが 今回の課題であると考えています。 内容・日程等も含め企画段階で協働することが大事と考えます。

6. 辻川R・十三干潟リバースクール

・平成23年7月31日(日)

6.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	親子リバースクール「干潟に学ぼう！干潟で遊ぼう！」		
担当	福島・毛馬出張所 管内	辻川河川レンジャー	
開催日時	平成23年7月31日(日) 8:30 ~ 16:00		
参加人数	参加総数	100名	
	一般参加者	75名	大人38名、子ども37名
	河川レンジャー	1名	辻川レンジャー
	講師	1名	河合典彦氏(大阪市立大桐中学教諭)
	協力スタッフ	17名	フォーラム委員会・リバーマスター わが町防災スクール・ザ淀川
自治体	5名	大阪市淀川区役所(金谷区長他)	
運営事務局	1名		
スケジュール	8:30	淀川水質調査のため十三野草公園で集合・午後に実施の親子リバー スクールで、水質調査も併せて行うようスタッフで決定。こ のため午前中の水質調査は取りやめ。十三干潟等の状況を調査	
	11:00	淀川区役所スタッフ集合、テント張り作業の開始	
	12:00	スタッフミーティング	
	13:00	受付開始	
	13:05	辻川レンジャー挨拶・淀川金谷区長挨拶	
	13:15	河合講師による挨拶および淀川に関するお話	
	13:30	十三干潟に入る(生き物観察と辻川レンジャー等による投網の実演他)	
	14:50	干潟での遊びの終了	
	15:00	テントに戻り着替え	
	15:10	淀川水質調査(パックテスト)PH, COD, アンモニウム他	
	15:40	河合講師による捕獲した生物の同定	
	16:05	終了解散	
実施場所	<p style="text-align: center;">十三干潟</p> 		

6.2 事前活動

各種資料	特になし
関係機関からの支援内容	特になし
レンジャーの活動内容	<p>○ 水質試験結果: 気温 29℃ , 水温 31℃</p> <p>1. アンモニウム 0.2mg/l 2. COD 15.0mg/l 3. PH 7.0 4. DO 7.0mg/l</p> <p>○ 生物調査の同定(河合先生による)</p> <p>1. 魚類 : ホラ、メダカ、スズキ、マハゼ、ウナギ、アハハゼ、チチフ 2. 甲殻類: テナガエビ、アシハラガニ、クロベンケイガニ、ゴカイ、イシマキガイ、コウロエンカリハリガイ(外来種)、クサガメ他</p>

6.3 活動状況



・十三干潟で魚とり夢中の親子



・シジミ堀に楽しむ児童達



・水質試験の風景



・河合講師による魚の同定風景

6.4 意見・課題

参加者からの意見	特になし
今後の課題	特になし

7. 辻川R・十三中学校防災紙芝居づくり ・平成 23 年 8 月 10(水)～31 日(水)

7.1 実施状況

<テーマ:河川レンジャー>

テーマ				
担当	福島出張所管内	辻川河川レンジャー		
参加学校	十三中学校			
日時	8月10日(水) 13:00~17:00	8月17日(水) 13:00~16:00	8月24日(火) 13:00~16:15	8月31日(水) 13:00~16:30
参加人数	12名	8名	11名	12名
参加者	2年生生徒 6名 講師 1名 教職員 4名 河川レンジャー(辻川) 1名	2年生生徒 4名 講師 1名 教職員 2名 河川レンジャー(辻川) 1名	2年生生徒 4名 講師 1名 教職員 5名 河川レンジャー(辻川) 1名	2年生生徒 3名 講師 1名 教職員 7名 河川レンジャー(辻川) 1名
講師	今川郁子氏 (絵画指導)	今川郁子氏 (絵画指導)	今川郁子氏 (絵画指導)	今川郁子氏 (絵画指導)
スケジュール	13:00 十三中学校図書室、原作、原画、木枠づくり 16:00 解散	13:00 十三中学校図書室、原画、木枠づくり 16:00 解散	13:00 十三中学校図書室、原画づくり 16:15 解散	13:00 十三中学校図書室、原画づくり 16:30 解散
活動場所	大阪市立十三中学校図書室(位置) 大阪市淀川区十三東			
				

7.2 事前活動

各種資料	災害関連資料
関係機関からの支援内容	レンジャー活動経費 ・紙芝居木枠 ・画用紙 十三中学校 ・物品の作成協力 ・お茶の差し入れ ・学校長はじめ教職員による激励支援
レンジャーの活動内容	事業実施に向けて 企画の提出 ○講師の依頼と調整 ○振り返り講義(イメージづくり)

7.3 活動状況

(8月10日(水))



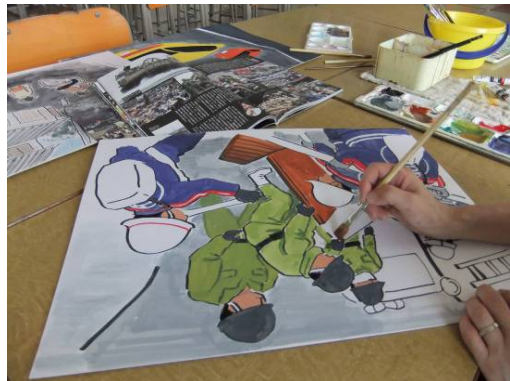
原稿づくりで指導を受ける
(8月17日(水))



2年生学年主任による紙芝居枠の作成
(8月24日(火))

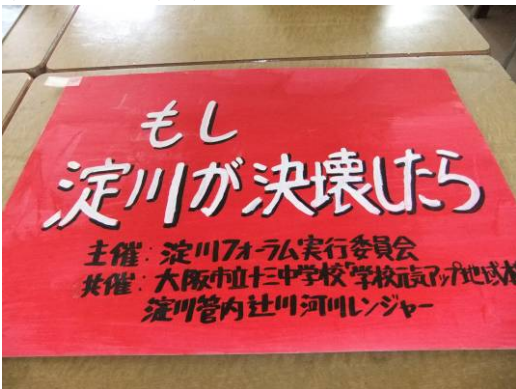


出来上がった紙芝居木枠



原画作成風景原画作成風景

(8月31日(水))



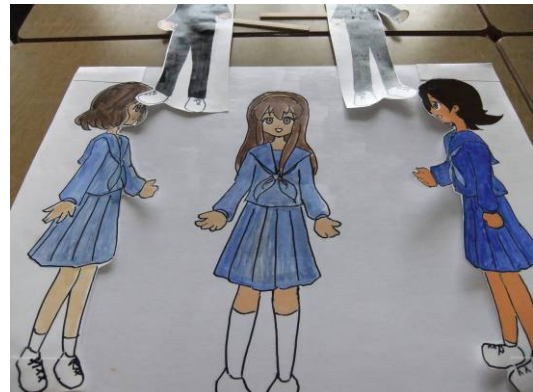
仕上った紙芝居



1年生で学習したこと



仕掛け紙芝居



仕掛け紙芝居

7.4 意見・課題

参加者からの意見	<p>(8月10日(水))</p> <ul style="list-style-type: none">・実際に体験していないのでイメージ作りに苦戦 <p>(8月17日(火))</p> <ul style="list-style-type: none">・少しずつイメージが湧いてきて来ました。・仕掛け紙芝居はすごいと思った。 <p>(8月24日(火))</p> <ul style="list-style-type: none">・夏休みの宿題が出来ていないので今日は早く帰ろう！！ <p>(8月31日(水))</p> <ul style="list-style-type: none">・やっと、なんとなく出来上がった。やった・・・という感じ。
今後の課題	<p>(8月10日(水))</p> <ul style="list-style-type: none">・少人数が課題。一方「参加しよう・・・」と思う生徒が集まっているので参加する生徒の力を大事にして行きたい。 <p>(8月17日(火))</p> <ul style="list-style-type: none">・感想として、真剣に取り組んでいる姿勢が新鮮でうれしく感じます。 <p>(8月24日(火))</p> <ul style="list-style-type: none">・其々の「宿題」という課題をもちながら参加してくれた生徒に心が温かくなります。 <p>(8月31日(水))</p> <ul style="list-style-type: none">・学生にとって夏休みは、大事な休みで自由に活用できる休みでもある。その中で、紙芝居づくりに係わってくれた生徒に拍手をしたい。少ない人数で、クーラーもなく有るのは、自然の風と常に見守っていただいている2年生学年今川主任、元気アップ事業地域本部柳川先生、美術の先生更に村上学校長や渡邊教頭そして絵画指導をお願いした今川郁子先生。ありがとうございました。・暑さに負けず心意気で完成させた紙芝居「もしも淀川が決壊したら」。感無量です。

8. 辻川R・干潟であそぼ

・平成23年8月7日(日)

8.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	親子リバースクール「干潟に学ぼ！干潟で遊ぼ！」 ヨシ舟づくり		
担当	福島出張所管内	辻川河川レンジャー	
開催日時	平成23年8月7日(日) 9:00~18:30		
参加人数	参加総数	54名	
	参加者	25名	大人 14名、子ども 11名
	河川レンジャー	1名	辻川レンジャー
	講師	2名	石川氏・西川氏 (水都の会・カムナ葦船プロジェクト)
	淀川区役所	9名	金谷区長はじめ職員
	スタッフ	17名	水都の会 5名 フォーラム委員 2名 生涯学習推進委員 2名 リバーマスター委員 6名 都市文化 1名 西川氏(講師助手)
	運營業務	1名	田井中
スケジュール	9:00	ヨシ舟工作作成用スペースの準備 辻川レンジャー挨拶及び趣旨説明各関係者挨拶 事前準備・スタッフ集合・各関係者挨拶 石川講師からヨシ舟の作り方をスタッフへ指導 船の下準備作成	
	11:50	下準備作業終了 昼食	
	13:00	一般参加者集合 主催者挨拶(辻川レンジャー) スタッフ紹介 金谷区長挨拶	
	13:18	辻川レンジャーから活動趣旨の説明	
	13:20	講師石川氏からヨシのお話と舟づくりの説明	
	13:27	作業開始・参加者と共に船の組み立て作業(船の半分)	
	15:34	参加者移動してマスト作り・一部スタッフは残り半分の船の組み立て作業	
	16:12	マスト完成(名前:夢ちゃん号)	
	16:20	移動して舟の最終仕上げ・船全体の組み立て・マストの縫製 船造りの基礎を石川講師から参加者へ指導	
	17:30	ヨシ舟完成 西川氏より葦笛の講話 参加者現地解散	
	17:45	片付け ヨシ舟移動<保管>	
	18:30	現地解散	



8.2 事前活動

各種資料	親子リバースクール「ヨシ舟づくりワークショップ」
関係機関からの支援内容	淀川区役所 ・協力者への周知 ・準備の協力 ・募集受付業務 レンジャー事務局 ・記録及び事業協力
レンジャーの活動内容	・現地の下見 ・打ち合わせ ・材料の調達 ・協力者への呼びかけ ・当日の進行・運営管理

8.3 活動状況



石川講師からヨシのお話と船作りの説明



子どもたちも作業開始



作業 軸をロープで繋げる



作業 帆先をつくる



マストを揚げる



見事に出来上がったヨシ舟

8.4 意見・課題


<p>参加者からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての体験で子どもより私が楽しみました。 ・力がいると思った。 ・本当に川で浮かぶのだろうか。浮かぶとうれしい。 ・マストづくり「ゆめ」が叶いそうな愛称で良かった。 ・葦笛はきれいな音だった。 ・小さい子どもにはメニューが多すぎたように思う。 ・子どもより大人が楽しめる企画でした。
<p>今後の課題・感想</p>	<p>第10回河川敷フェスティバル企画の一つとして、2月にヨシ刈りを終了させたヨシを使つての大掛かりな事業となりました。ヨシの保管については悩んだところですが、様々な方面からのご支援で出来得た事業だと思っています。</p> <p>応募者が低学年であることまた、水都の会より西中島のヨシ（ヨシの長さや太さ）では「ヨシ舟は出来ない」と言われていましたので事業の成立に向け心痛めました。</p> <p>指導者の石川氏・西川氏の素晴らしい魅力ある指導力と、引率者の積極的な関わりで立派な作品が出来得ました。</p> <p>指導者の石川氏より、これまで多くの葦舟を作ってきたが、今回出来上がって「気を入れた時」感動して身震いがしたと話していただきました。</p> <p>これまでの10年の重みを感じると共に 区民協働（多様な団体との協働）のまちづくりとして「人と人 心と心」の繋がり、人の出会いに深く感動しました。</p> <p>事業に掛った時間・動力が大きく、多くの協力が必要であったことが今後の課題と考えます。</p> <p>一方 今回の事業でスタッフ30名の繋がりはいかにも大きいもので、何物にも代えがたいものがあると思っています。</p> <p>当事業が、事故なく無事終了したことに対し全ての方々に、感謝とお礼の言葉を添えて次の事業に繋げて行きたいと思っています。</p> <p>ありがとうございました。</p>

9. 辻川R・第二室戸台風講演

・平成23年9月17日(日)

9.1 実施状況

<テーマ：淀川資料館 淀川特別講座「第二室戸台風～50年後の今、語ること～」>

テーマ	淀川資料館 淀川特別講座「第二室戸台風～50年後の今、語ること～」		
担当	福島出張所管内	辻川河川レンジャー	
開催日時	平成23年9月17日(土) 13:30～15:30		
参加人数	参加総数	14名	
	参加者 河川レンジャー スタッフ 事務局	9名 1名 3名 1名	(大人9名) (辻川R) (淀川資料館)
スケジュール	<p>※第二室戸台風から50年目となる今年、淀川資料館が企画した特別講座において、幼少期に被災地付近にお住まいで経験をされた辻川レンジャーに講師の依頼があり、それを受けて講演されたものです。</p> <p>13:30 会場着(淀川資料館) ・会場準備(淀川資料館スタッフ) ・聴講受付(淀川資料館スタッフ)</p> <p>14:10 開会 ・主催者挨拶 井上チーフマネージャー(淀川資料館) ・講師紹介(講師:辻川レンジャー)</p> <p>14:15 講演「第二室戸台風～50年後の今、語ること～」 1.はじめに 2.昭和36年を振り返る 3.第二室戸台風の体験 4.昭和の三大台風 5.東日本大震災と台風12号を考える 6.子どもに伝えたいこと 7.まとめ～減災に向けて～ (1.中学生の防災紙芝居づくり 2.地域防災マップ作り) ・講演後、聴講者からの質問</p> <p>15:30 閉会</p>		
実施場所	<p>●淀川資料館</p> 		

9.2 事前活動

各種資料	<ul style="list-style-type: none"> ・講演レジュメ [講師：辻川レンジャー] ・パンフレット「備えあれば憂いなし！～みんなのできる災害への備え～」 [講師：淀川資料館]
関係機関からの支援内容	<p>河合先生・・・枚方公園の平常時と出水時の比較写真(すべて個人撮影) 西中島の平常時と出水時の比較写真 大堰の平常時と出水時の比較写真</p> <p>早瀬氏・・・流れ橋の平常時写真(すべて個人撮影) 台風12号で流された状況写真</p>
レンジャーの活動内容	<p>写真資料提供の依頼を行う。 資料の収集 淀川資料館へ資料提供の依頼を行う。 パワーポイントの作成 次第の作成 広報活動</p>

9.3 活動状況



○レジュメ7.まとめ ～減災に向けて～
「自分のまちを知って・考えて・実行する」
をテーマに現在地域で取り組んでいる『地域
防災マップづくり』を紹介



○聴講者との質疑応答
みなさんの経験を踏まえた防災に関するさまざま
な思い、質問などが寄せられた。

9.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者からの質問 大阪府が出す防災マップ（防災計画）と 研究者が出す1000年前の災害を基にする防災計画の認識について 貴方はどの様な認識を持たれているか？ ・回答 専門家では有りませんのであくまでも個人の見解として、津波も含む災害は 大よそ1000年前に起きたであろう災害を基にした防災計画が 妥当であると考えています。 ・参加者からの質問 淀川区のなかに ガスタンクの施設がある。 事業所が日曜等の休業日に事故が発生した場合 地域はどの様にすれば良いか。 ・回答 当方の地域でこれまでの5年間 住民懇談会から始まり図上訓練さらに、～もし災害 が起きたら～地域のリーダーは何をどの様に実践するか！！を基本に避難所開設を行 ってきました。今年度6回を迎えた住民懇談会は 現在「減災に向けて マップ作り」 に取り組んでいる。 4つに分けた（8町会）地域で ハンマー・ジャッキー等の機材を持ち備えている事業 所をチェックし 病院、薬局、地域にお住まいの医師・看護師さん等の有無の確認を 行い更に 内水溢を想定してまち歩きを行いマンホール等の位置を地図に書き入れて いる。 今まで地域が事業所とどの様に連携してきたかが課題であるが 今回のマップ作りを とおして 地域と事業所との協力体制を今まで以上に強化しておくことが大事である と考えています。この事が減災に繋がると思います。
----------	--

	<p>ご指摘の地域は 3月26日に美津島中学校で加島・三津屋地域合同の避難所開設が実施されました。その折 レンジャー活動として「流れる川の体験」「水没ドアの体験」を実施いたしました。</p> <p>1つの地域だけでなく中学校下の2つの地域（三津屋・加島）は 防災に対しての危機意識は高くもって活動を行われています。 住民の方からも声を上げながら企業・地域・行政が連携した取り組みをされることを期待いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者から <p>=知って・考えて・実行する=について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回答 <p>長年培った知恵を伝えて行くことが大事で 先ずは大人が理屈抜きで「実行すること」であると思います。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>活動場所から離れていることから 自身の広報活動に限界を感じました。</p> <p>一方 ご参加いただいた方々の心意気で無事 講師を務めることができました。</p> <p>今後の活動において 今回の経験を活かし広報等の課題を解決していきたいと考えています。</p>

10. 辻川R・十三中学校防災紙芝居づくり

・平成23年9月26日(月)

10.1 実施状況

<テーマ:河川レンジャー>

テーマ	わがまち防災スクール「防災紙芝居」づくり	
担当	福島出張所管内	辻川河川レンジャー
参加学校	大阪市立十三中学校	
日時	9月26日(月) 16:00~18:00	活動場所 大阪市立十三中学校図書室 (位置) 大阪市淀川区十三東
参加人数	9名	
参加者	2年生生徒 4名 講師 1名 2年主任 1名 教職員 1名 教頭先生 1名 河川レンジャー(辻川)	
講師	今川郁子氏	
スケジュール	16:00 十三中学校図書室、原作 18:00 解散	



10.2 事前活動

各種資料	原画冊子
関係機関からの支援内容	十三中学校：講師への調整と連絡、実施場所の設営 生徒への呼びかけ
レンジャーの活動内容	事業実施に向けて 企画の提出、原稿の清書、振り返り講義（イメージづくり）、文章（原作）指導、○演技指導

10.3 活動状況

(9月26日(月))



原画に沿った文章作りに励む



思いおもいの言葉を出し合う仲間たち

10.4 意見・課題

参加者からの意見	文章作りは難しい。 文書を作っても 演じて行くことは更に難しい。 先生のコメント 普段おとなしい生徒が積極的にかかわっている姿を見て 不思議さと本当に良かったと言う気持ちで一杯です。
今後の課題	指導に当たるため 写真記録が不十分で活動報告書作成に苦心。 単独で事業を進行・運営を担う時 報告書作成にどこまで提示するかについては限界があり、今度の課題とします。

11. 池宮R・淀川探訪ウォーキング

・平成 23 年 4 月 13 日(水)

11.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	淀川探訪ウォーキング		
担当	福島出張所管内	池宮河川レンジャー	
開催日時	平成 23 年 4 月 13 日(水) 9:00~12:30		
参加人数	参加総数	41 名	
	一般参加者	33 名	大人 33 名(十三福寿会、淀川水遊館ほか)
	河川レンジャー	1 名	
	自治体	5 名	淀川区役所 3 名(すこやか夢ちゃんプロジェクト)、水道記念館 2 名
	スタッフ 運営事務局	1 名 1 名	
スケジュール	<p>8:51 淀川区役所にて集合、受付</p> <p>9:19 すこやか夢ちゃんプロジェクトによる準備体操</p> <p>9:31 レンジャーより堤防強化について説明</p> <p>11:21 説明スタッフと柴島浄水場内の見学(浄水過程・汚泥処理)</p> <p>11:41 アンケートの記入</p> <p>11:49 参加者質疑応答</p> <p>12:27 淀川流域の水環境について説明</p>		
実施場所	<p>淀川区役所～水道資料館</p> 		

11.2 事前活動

各種資料	<ul style="list-style-type: none"> ・淀川探訪ウォーキング資料(レンジャー作成) ・水道記念館告知資料(水道記念館、水の散歩道、自然豊かな淀川の明日、琵琶湖・淀川水系の魚、水の道の話・大阪市水道、じょうすいじょう見学記念ファイル) ・おおさかカンヴァス推進事業告知パンフ ・淀川発見講座告知チラシ、河川レンジャーNews ・すこやか夢ちゃんプロジェクト「ウォーキングマップ」 ・市民共済告知(ハンカチ・チラシ)
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪市、淀川区役所よりすこやか夢ちゃんプロジェクト広報スタッフ ・大阪市立水道記念館より広報スタッフ
レンジャーの活動内容	<p>ウォーキングコースの概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母なる大河・淀川(明治 43 年淀川改修) ・淀川大堰より下流は汽水域 ・堤防強化工事 ・水道記念館 ・柴島浄水場

11.3 活動状況



9:31 レンジャーより堤防強化について説明



11:21 説明スタッフと柴島浄水場内の見学(汚泥処理)



11:41 アンケートの記入



11:49 参加者質疑応答

11.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>淀川探訪ウォーキング アンケート報告集計 アンケート回収 一般参加者33名 回答 33名 ※ 参加者記入のアンケートより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花の季節に合わせて、とても良い計画で勉強になりました。大阪の水に感謝です。 ・浄水場の見学、勉強になりました。安心して飲める水ができるまで、知らなかった事を覚えました。 ・参加者が自分の知っていることを説明する場面を設けたら興味が湧いてくる。 ・大阪の水はきれいだという評判はよく聞いていましたが、これだけの設備で、ていねいにろ過していただいているおかげなのだと思います。めったに来ない所に参加させていただきよかったです。
<p>今後の課題</p>	<p>河川空間を体感する健康ウォークと歴史ある浄水施設の組み合わせ、参加者には好評、「知ってるようで何も知らない」、河川と関連施設と地域の歴史への理解者を増やすため継続して河川を利用する健康ウォーク参加者を募り、活動の輪を広げたい。</p>

12. 池宮R・十三小学校の十三干潟体験

・平成23年6月28日(火)

12.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	十三干潟での生物多様性と自然環境学習		
担当	福島出張所管内	池宮河川レンジャー	
開催日時	平成23年6月28日(火) 9:30~12:00		
参加人数	参加総数	75名	
	学校参加者	45名	児童(3年生22名・4年生23名)
	河川レンジャー	13名	教師4名・校務員2名・PTA7名
	スタッフ	1名	池宮レンジャー
	自治体	12名	十三福寿会、淀川水遊館
	出張所	1名	淀川区長
	運営事務局	2名	宮島係長ほか
	1名		
スケジュール	<p>9:00 準備(のぼり等の設置・出張所より機材到着)</p> <p>9:30 スタッフ集合</p> <p>9:45 機材搬入(ライフジャケット・タモ網等)</p> <p>10:00 水槽展示のため魚の捕獲(投網実施)</p> <p>10:30 十三小学校生徒集合</p> <p>10:35 レンジャーの挨拶・福寿会会長挨拶・干潟遊びの注意</p> <p>10:37 ライフジャケット装着(児童全員)</p> <p>10:44 水辺の活動(自然観察と遊び)開始</p> <p>10:50 干潟の水辺と背景の都市景観</p> <p>11:08 ヨシ原にある水路での遊び</p> <p>11:10 暑いので水浴のようす</p> <p>11:24 捕獲した生きもののリリース</p> <p>11:45 自然観察終了</p> <p>11:50 児童による答礼・閉会</p> <p>12:00 後始末(14:00~ライフジャケット清掃)</p>		
実施場所	<p>十三干潟</p>		

12.2 事前活動

各種資料	河川部水政課発行「川遊びは楽しいけれど」チラシ
関係機関からの支援内容	河川事務所 貸与備品 1. ライフジャケット(大) 2 " (小) 45 2. 投網 1 3. タモ網 25 4. 四ツ手網 2 5. アクリル水槽 2 児童見守り 1. 福寿会 2. 水遊館
レンジャーの活動内容	1. 実施計画の立案 実施日、実施内容の検討、現地を見 2. 関係機関との調整・協力者との打ち合わせ 実施内容の案内と周知、参加人数の確認 3. 使用備品の手配 4. 活動実施 開会 参加児童への注意事項の徹底 学校関係者との交流 意見・感想の聴取・とりまとめ

12.3 活動状況



10:37 ライフジャケット装着



10:44 水辺の活動(自然観察・遊び)開始

12.4 意見・課題

参加者からの意見	<ol style="list-style-type: none"> 1. 天候と潮汐に恵まれ大きな干潟が出現し参加者一同が大喜びであった。 2. 暑かったけれど干潟に入れ、魚や手長エビを網で取ることができて楽しかった。 3. 生徒たちにライフジャケットを着せてくれたので安心して川遊びをさせることが出来、子供たちも楽しそうだった。 4. 童心に帰って子供たちと遊べた。 5. 新しい区長も参加、子供たちと一緒に泥んこだらけになって川遊びに夢中になり、十三干潟の素晴らしさと親しみを感じた。 6. これからも、自然観察・遊びをよろしくお願い致します。 7. 淀川と十三干潟の素晴らしさを地域の人に伝える活動、素晴らしい。これからも協力させてもらいます。
今後の課題	多くの参加者特に児童が多いので安全管理に今後とも注意する。

13. 池宮R・淀川図書館生きもの教室

・平成23年7月23日(土)

13.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	淀川の水辺の生きもの教室		
担当	福島・毛馬出張所 管内	池宮河川レンジャー	
開催日時	平成23年7月23日(土)14:00~16:00		
参加人数	参加総数	20名	
	一般参加者	15名	大人9名、子ども6名
	河川レンジャー	1名	池宮レンジャー
	協力スタッフ	3名	稲垣泰平氏：ヨシを使用して5本組み笛の製作 淀川水遊館：貝殻を使用した金魚・カエルのストラップ作り 十三福寿会
	運営事務局	1名	
スケジュール	11:00	淀川図書館2Fにおいて準備・「干潟の生きもの」水槽搬入 (オボコ・ハゼ・テナガエビ・スジエビ) (アシワラガニ・クロベンケイガニ)	
	13:30	受付開始	
	14:00	淀川図書館館長瀬楽氏挨拶 池宮レンジャー挨拶	
	14:05	池宮レンジャーのスライドによる「淀川のお魚」のお話	
	14:40	地元歴史研究家稲垣氏によるヨシ笛の製作指導	
	15:00	淀川水遊館によるシジミ殻を利用したストラップの製作	
	15:25	淀川水遊館による植物の葉を利用した創作バッタ製作 その他、ぶんぶんごま、ゴム飛行機等の体験	
	15:45	終了	
実施場所	(位置) 大阪市淀川区新北野 (淀川図書館2F)		
	<p>The map shows the location of the event at the Osaka City Library, Ise River Branch, located at 2F of the building in Shin-Hiro, Abeno-ku, Osaka. Key landmarks include the Ise River (淀川) to the east, the Tenryū River (淀川) crossing, and the Ise River Station (阪急十三駅). The map also shows the R176 road and various local businesses and schools in the area.</p>		

13.2 事前活動

各種資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 淀川区ウォーキングマップ ・ 河川レンジャーニュースNo. 16/17号 ・ 琵琶湖淀川水系の魚 ・ 川遊びの注意チラシ ・ すこやか夢ちゃんシール
関係機関からの支援内容	淀川河川事務所・福島出張所 借用備品の手配 ・ 川遊びの注意チラシ ・ 投網 ・ アクリル水槽 ・ 簡易四つ手網 淀川水遊館 工作用材料 乾燥ヨシ・タコ糸・ シジミの貝殻・布・ストラップ紐・植物の葉 工作用機材 はさみ・カッター・ボンド等
レンジャーの活動内容	実施計画の立案と調整 実施日・時間、実施場所、実施内容 関係機関との調整「大阪市立淀川図書館」 会場設営 募集のチラシ作成打合せ 募集人数の確認 使用機器の確認 展示する干潟の生きものの採取（十三干潟にて） オボコ・ハゼ・テナガエビ・スジエビアシハラガニ・ クロベンケイガニ 講習内容のデータ作成 活動の実施 開会・閉会の挨拶 参加者との交流 意見・感想の取りまとめ

13.3 活動状況



・ヨシ笛製作体験

13.4 意見・課題

参加者からの意見	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地元においても知らないことがいっぱい勉強になりました。 2. 淀川がつくられた歴史は初めて聴きました、次の機会も参加させてもらいます。 3. 淀川のことをもっと伝えて欲しい。 4. 川にすんでる生き物が見られて楽しかった。 5. 大きなカニをはじめて見た。 6. ヨシ笛とか貝殻で作ったストラップとか工作ができておもしろかった。
今後の課題	地域の「お祭り」とバッティングしてしまい、参加者が当初人数より少なかった。 次回開催の際は地域の催しとダブらない日時で行ないたい。

14. 池宮R・防災を考える(防災ズキン)

・平成 23 年 9 月 10 日(土)

14.1 実施状況

<テーマ:>淀川の歴史を学び水害に強いまちづくり

テーマ	第 1 回みんなで考えよう防災		
担当	毛馬出張所管内	池宮河川レンジャー	
開催日時	平成 23 年 9 月 10 日(土) 10:00~12:00		
参加人数	参加総数	27 名	
	一般参加者	23 名	大人 20 名、子ども 3 名
	河川レンジャー	1 名	池宮レンジャー
	講師	1 名	池宮久子氏(区民センター ハウ・リーダー)
	協力スタッフ	3 名	
	運営事務局	1 名	
スケジュール	9:30	淀川区民センターでの準備	
	10:00	池宮レンジャー挨拶	
	10:03	スライドによる防災のお話	
	10:54	防災ズキンの製作体験の準備・説明	
	11:00	防災ズキンの製作体験	
	12:00	終了	
実施場所	<p style="text-align: center;">淀川区民センター</p> 		

14.2 事前活動

各種資料	<ol style="list-style-type: none"> 1. 淀川の歴史を学水害に強い町作り(第 1 回)チラシ 2. 淀川の歴史を学水害に強い町作り(第 2 回)チラシ 3. 座布団・かばんにもなる防災ズキンの作り方教室チラシ
関係機関からの支援内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 淀川資料室:水害のパネル 2. 淀川区民センター:会場・P.P 機器の準備 3. 淀川区民センター:広報案内
レンジャーの活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実施計画の立案 実施日、実施内容の検討、募集チラシの作成、講座資料の作成 2. 関係機関との調整 3. 協力者との打ち合わせ 実施内容の案内と周知・参加人数の確認 4. 使用備品の手配 5. 活動実施

14.3 活動状況



・防災ズキンの講師による説明



・防災ズキンの製作風景

14.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 淀川の水害の歴史と防災の話で避難場所などがよくわかりよかった。 2. 堤防の工事内容がよく理解出来ました。 3. このようなわかりやすい防災講座をたくさんの方が受けてほしい。 4. 水害、地震、火災などの災害が理解でき勉強になった。 5. 身近な物でも土のうの代わりになる方法がわかってよかった。 6. 自分の身を守るために何をすべきかという話はよかった。 7. 自分たちが住んでいる街が0メートル地帯で何によって守られているか、まさかの時にどのような高さの所、堅牢な場所に避難したらよいかなどが分かりやすい説明で勉強になった。 8. 地域の役員より同じ内容の防災講座を開いて欲しいと依頼を受けた。 (日程などを調整して開催する。)
<p>今後の課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. スライドの中身を編集しなおし、活字を減らし、絵・写真を主にした内容に編集し、分かりやすい内容にする。

15. 三輪R・伏見探索

・平成23年4月22日(金)

15.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	川沿い歩き・歴史散歩		
担当	毛馬出張所管内	三輪河川レンジャー	
開催日時	平成23年4月22日(金)10:00~15:00		
参加人数	参加総数	17名	
	一般参加者	15名	大人15名
	河川レンジャー	1名	三輪レンジャー
	運営事務局	1名	
スケジュール	10:08	中書島にて参加者集合	
	10:44	センターレンジャーによる施設の説明	
	11:28	資料館見学、三栖閘門最上階より展望	
	11:44	三栖樋門周辺の植物観察	
	12:26	上流域センター会議室にて資料説明	
	13:17	角倉記念碑にてレンジャーの説明、寺田屋見学	
	13:53	大倉記念館見学	
	14:22	十石舟乗船	
	15:00	三栖閘門下船、上流域施設撤収	
	15:10	三栖閘門から乗船	
	15:30	中書島駅解散	
実施場所	上流域センター～三栖資料館～寺田屋～大倉記念館～十石舟		
			

15.2 事前活動

各種資料	高瀬川・伏見関連資料(角倉了意、マップ、HP資料、舟入関係、明治市街戦マップなど) 十石舟三十石船の旅パンフ 淀川発見講座告知チラシ 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター告知パンフ
関係機関からの支援内容	三栖資料館説明者、三栖閘門高樓開放 会議室の利用
レンジャーの活動内容	企画、引率、 資料準備、 川沿い歩き周辺エリアの説明

15.3 活動状況



10:08 中書島にて参加者集合



10:44 センターレンジャーによる施設の説明



11:44 三栖樋門周辺の植物観察



12:26 上流域センター会議室にて資料説明



13:17 角倉記念碑にてレンジャーの説明見学



13:53 大蔵記念館見学のようす

15.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> * 三栖閘門、伏見などはじめて訪れた、説明していただきとてもよくわかった。 * 淀川河口とは、全く違う川の一面が見学できた。 * 伏見の歴史を感じられる川沿い散歩でした。 * 小椋池について、初めて知った。 * 閘門の展望台から見学でき、付近の様子がよくわかった。
今後の課題	<p>担当エリア外の川沿い歩きで、事前に下見や下調べに時間をかけましたが、十分な説明ができたか、今後の課題です。今回はセンターレンジャー、運営事務局の解説サポートをいただき、参加者から「良かった」というメールをたくさんいただきました。</p> <p>今後も川のいろいろな姿を見ながら、歩く企画を考えてみたいと思います。</p>

16. 三輪R・堀川小学校地域連携

・平成23年6月12日(日)

16.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	第8回かえっこバザール(堀川小学校はぐくみネットとの共催)		
担当	毛馬出張所管内	三輪河川レンジャー	
開催日時	平成23年6月12日(日) 14:00~16:00		
参加人数	参加総数	282名	全参加者数 435名(スタッフ・父兄を含む)
	一般参加者		280名 大人30名、子ども250名
	河川レンジャー		1名 三輪レンジャー
	協力スタッフ 運営事務局	12名 1名	
スケジュール	13:30	堀川小学校体育館において受付開始	
	13:45	主催者挨拶・三輪レンジャー挨拶	
	13:50	尺八演奏	
	13:55	三輪レンジャーによるコーナー紹介 折り紙コーナー・歴史双六コーナー・お話カルタコーナー・展示コーナー(淀川の洪水記録写真・淀川航空写真他)	
	15:15	オークション	
	16:00	終了	
実施場所	(位置) 大阪市立堀川小学校		
			

16.2 事前活動

各種資料	<ul style="list-style-type: none"> ・かえっこバザールチラシ ・地域の情報誌(VOL.14)
関係機関からの支援内容	淀川資料館、中央流域センターよりパネル 毛馬出張所 運搬
レンジャーの活動内容	各コーナーの準備 主催者と広報協力 会場タイトルディスプレイ制作 保護者対象のレンジャーパネル説明

16.3 活動状況



・カルタ取りの参加児童



・お魚の赤ちゃんを探す児童達

16.4 意見・課題


参加者からの意見	保護者・地域の方から レンジャー防災パネル 印象に残った。 歴史双六に参加者、『大阪を知る、地域を知る』ことはたいせつ。 児童 ちりめんじゃこのイベントもっとしたい。
今後の課題	2時間枠で、参加者が多く、希望者にすべて体験してもらえなかったよう でした。 ワークショップの内容にひと工夫したい。

17. 三輪R・北区役所防災とお魚探し

・平成23年8月1(月)～8日(月)

17.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	防災学習会とお魚探し		
担当	毛馬出張所管内	三輪河川レンジャー	
開催日時	平成23年8月1～8日(月)9:00～17:00		
参加人数	参加総数	231名	
	一般参加者	213名	展示6日間約200名、土嚢作り13名
	河川レンジャー	2名	三輪レンジャー、崎谷レンジャー(土嚢作り)
	講師	1名	裕永正光氏(水防技術専門員)
	スタッフ	6名	搬入3人・設営1人、土嚢体験お魚イベント5人搬出2名
	自治体	6名	土嚢作り北区役所展示担当2人防災2名他2名、搬入搬出2名
	出張所 運営事務局	2名 1名	搬入・搬出 設営・土嚢体験・撤収
スケジュール (8月1日)	10:25	1日展示作業	
	11:19	区役所の一画の展示会場入り口	
	12:08	魚の赤ちゃん探しの開始	
	12:28	魚の赤ちゃんスタッフによる指導	
	13:17	タコツチの使い方の指導	
	13:27	模擬土のうの結束指導	
	13:43	講師による土のう積みの注意点: 間詰め土の働き	
実施場所	<p>大阪市北区役所</p> 		

17.2 事前活動

各種資料	防災河川レンジャー活動パネル展告知チラシ、北区防災マップ、大阪市市民防災マニュアル、淀川親子入門講座告知チラシ、神戸大ボート部試乗交流告知チラシ
関係機関からの支援内容	淀川河川事務所・毛馬出張所・中央流域センター 淀川資料館・環境学習講座 生涯学習推進員
レンジャーの活動内容	企画、会場利用 北区役所打ち合わせ、 淀川資料館・講師打ち合わせ 広報依頼 (全体作業日程) 7/29: 北区へ搬入 8/1: 設営・展示開始 8/2: 土嚢作り体験 8/8: 展示終了・撤収 8/10: 搬出

17.3 活動状況



11:19 区役所の一画の展示会場入り口



12:28 魚の赤ちゃんスタッフによる指導のようす



13:52 模擬土のうの結束指導



13:43 講師による土のう積みの注意点: 間詰め土の働き

17.4 意見・課題

参加者からの意見	土嚢について、初めての体験だった。 パネルを見て、当時を思い出した。 東日本の震災を遠くのできごとと思えない その他、災害の体験を聞かせて下さった方が数名。
今後の課題	北区での初めての試みでしたが、区の担当者協力もえられ、今後、繰り返し開催したいと思います。 (区との共同企画、レンジャーニュースの閲覧用ファイルの設置)

18. 石山R・淀川の淡水魚を知る

・平成23年5月21日(土)

18.1 実施状況

<テーマ:> 淀川スペシャル講座 第1回

テーマ	淀川の淡水魚を深く知る		
担当	毛馬出張所管内	石山河川レンジャー	
開催日時	平成23年5月21日(土) 13:00~15:00		
参加人数	参加総数	51名	
	一般参加者	40名	大人40名、子ども0名
	河川レンジャー	2名	石山レンジャー/中島レンジャー参加
	講師	1名	長田芳和氏(大阪教育大学名誉教授)
	協力スタッフ	6名	
	運営事務局	2名	
スケジュール	12:30	大阪市水道記念館会議室にて受付開始	
	13:00	石山レンジャー挨拶 (第1部)	
	13:03	プロジェクトによる河川レンジャーの紹介~魚の紹介	
	13:25	休憩 (第2部)	
	13:45	長田名誉教授による魚の生態(産卵等)ビデオ紹介	
	13:46	魚の産卵様式(親が守る・親が守らない・託卵)	
	14:30	休憩	
	14:40	引き続き長田名誉教授による魚の生態ビデオ紹介	
	15:50	終了 石山レンジャー終了挨拶	
実施場所	(位置) 大阪市水道記念館		
			

18.2 事前活動

各種資料	1. 淀川スペシャル講座パワーポイント資料(石山レンジャー) 2. 川とさかなの子供の文化(長田芳和名誉教授)
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> 水道記念館 会場提供、会場設営のサポート NPO法人nature works 近畿版「川に棲む魚」ポスター50枚 人を自然に近づける川いい会 協力スタッフ6名 琵琶湖・淀川水質保全機構 スタンプラリーにより集客支援 環境カウンセラー・カップ研究会・大阪水都の会等のMLによる告知
レンジャーの活動内容	事業プランニング、会場担当者との打ち合わせ、講師依頼 協力スタッフの手配、広報ツールの準備および活動 資料づくり、会場への教材・展示物等の搬入手配 展示物のセッティング、当日運営、展示物の搬出

18.3 活動状況



・石山レンジャー説明風景



・レンジャー説明に熱心に見入る参加者



・大阪教育大学長田名誉教授



・長田教授VTRによる魚の生態放映

18.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>今日はとても楽しく拝聴させていただきました。 石山レンジャー様のお話も大変わかりやすく、かつ楽しませていただきお話のくぐりがあったのがよかったのか、私個人的な意見ではありますが大阪教育大の長田先生のお話がスムーズに頭に入りました。</p> <p>先生のお話も、専門用語をのべりながらも、先生の小言がはいったのがよかったのか私のような素人でも聞きやすかったです。 今回の講座にお集まりになられた皆様にとっても、貴重な産卵映像や資料などは、大いに今後のおおの取組に活かされる有意義な講義だったと思います。 家に帰ったら、さっそくポスターを部屋に貼って復習ですね。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>定員 30 名であったが会場が広いこともあり、MAX50 名に設定し、前日まで受け付けしたところ、スタッフを含め 51 人の参加。キャンセル 3 名あり。客質も高く、満員御礼。数種の ML を活用し、人から人に伝わるようにした結果、口コミによる応募が意外と多かった。中島レンジャーからも集客サポートあり。3 月より水道記念館内・2 カ所にポスター展示をしたため、館でのイベント告知効果もあった。今後も手を抜かず、戦略的な告知・集客の努力をイベント当日まで実行したいと思う。</p>

19. 石山R・生きものクラフト

・平成23年8月6日(土)

19.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	生き物クラフト教室		
担当	福島・毛馬出張所 管内	石山河川レンジャー	
開催日時	平成23年8月6日(土) 9:30~15:30		
参加人数	参加総数	82名	
	一般参加者	78名	大人31名、子ども47名
	河川レンジャー	1名	石山レンジャー
	講師	1名	小山一也氏(藤田保険衛生大学医学部客員准教授)
	協力スタッフ 運営事務局	1名 1名	
講師	小山一也氏		
スケジュール	9:30	・大阪市水道記念館講演会場でのスタッフによる準備	
	10:00	・受付開始	
	10:05	・石山レンジャーの挨拶	
	10:10	・小山講師によるクラフト作成に伴う作業の注意点および説明	
	15:00	・作業終了	
	15:05	・後かたづけ	
	15:30	・終了	
実施場所	(位置) 大阪市水道記念館講演会場		
	 <p>The map shows the location of the Osaka Waterworks Memorial Hall Lecture Hall (大阪水道記念館) in Osaka. A yellow callout box points to the building, which is situated near the intersection of the Yamanote Line and the Nishi-Nagasaki Line. Other landmarks visible include the Nishi-Nagasaki Station (西中島南方駅) and the Nishi-Nagasaki Line (西中島南方線).</p>		

19.2 事前活動

各種資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 石になった魚 ・ 芥川緑地の生き物たち ・ 芥川緑地パンフ ・ 3Rまなびあいブック（環境省） ・ 大震災県外避難住民の心の中は今！
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水道記念館 会場提供、会場設営のサポート、受付での参加チケット配布および告知 ・ NPO法人nature works 100人分の教材を無料提供してもらい、 カッター・ハサミ・カッティングマットを1組@100円でレンタル 事前に、教材よりも大きいサイズの応用オブジェを作成し、会場で展示 ・ 人を自然に近づける川いひ会 協力スタッフ1名派遣、受付・道具の配置・客席誘導・片付けのサポート ・ 琵琶湖・淀川水質保全機構 BYスタンプラリーにより集客支援 ・ その他 環境カウンセラー・カップ研究会・大阪水都の会等のMLによる告知
レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 事業プランニング、会場担当者との打ち合わせ、講師依頼 協力スタッフの手配、広報ツールの準備および活動 配布資料の準備、会場への教材・展示物等の搬入手配 当日、ペーパークラフト指導 展示物のセッティング、当日運営、展示物の搬出手配

19.3 活動状況



・ 熱心に取り組む参加者風景



・ 誤って手を切らないように！



・ 講師によるクラフト作成の実演



・ 親子で熱心に取り組む風景



・大人の方も真剣に



・できればは上々かも

19.4 意見・課題


<p>参加者からの意見</p>	<p>こんにちは。 土曜日は、とってもいい経験させていただきました。 ありがとうございました。 じっとでけへん二人が、じっとしてやってる姿はなかなか、お目にかかることありません。 あの後、小僧らは、外の池で亀と戯れて大はしゃぎだし、大人は展示品を見て回り、有意義でした。</p> <p>8月6日。キッズクラブで大阪市立水道記念館に、7人で遠足に行きました。淀川にすむたくさんの魚が水槽で展示されていました。 生まれてすぐの魚やエビなどを展示してあるコーナーもあり、子どもだけでなく、大人も楽しめました。 クラフト教室にも参加しました。ハサミとカッターナイフを使って型紙を切っていきます。細かい作業でしたが、とってもすばらしいペーパークラフトの生き物たちができあがりしました。 夏休みの工作は、バッチリ完成です♪♪</p>
<p>今後の課題</p>	<p>事前募集は40名と設定していたが、水道記念館の一般来場者にも参加していただけるようMAX100名分を用意。淀川水系にすむ生きものたち16種類を切ったり折ったりして制作。11～14時の予定だったが参加者が途切れず、15時まで延長。それでも、10人ほどはお断りし、自宅できるようにキットを差上げた。</p> <p>このことから今後、自由参加型の教室では、会場入口付近に最終受付時間を掲示するようにしたいと思う。また、予定していたスタッフ2名が急遽、仕事のため欠席。交代で昼食をとる予定にしていたが、講師・スタッフとも昼食抜きとなってしまった。講師および事務局の西野さんに手伝っていただき何とかさばいたが、館の一般参加者をサポートするスタッフ配置を館にもお願いしたい。</p>

20. 崎谷R・話と工作教室

・平成23年8月21日(日)

20.1 実施状況

<テーマ:> 淀川親子入門講座

テーマ	第一回 お話と工作教室「都会の川を楽しむ方法」			
担当	毛馬出張所管内	崎谷河川レンジャー		
開催日時	平成23年8月21日(日)10:00~12:30			
参加人数	参加総数	10名		
	一般参加者	6名	大人3名、子ども3名	
	河川レンジャー	1名	崎谷レンジャー	
	協力スタッフ	1名		
	自治体 運営事務局	1名	大阪市立北図書館館長(吉田和彦氏)	
スケジュール	10:00	大阪市立北図書館 2階読書室で準備		
	10:15	受付開始		
実施場所	10:30	吉田図書館館長 開会挨拶 講座主旨の説明と講師紹介		
	10:35	崎谷レンジャー挨拶に引き続き「川のお話」		
	11:20	ヨシ笛工作の説明・工作開始		
	11:50	崎谷レンジャーによる第二回活動の案内		
	12:00	終了・参加者解散 後片付け		
	(位置) 大阪市北区本庄東3-8-2 大淀コミュニティーセンター内			
				

20.2 事前活動

各種資料	ヨシ笛を作ってみよう!案内書 レンジャーニュース(No.16、No.17)
関係機関からの支援内容	○葦材及びヨシ笛づくりの諸材料・道具類セット提供、貸与 ○淀川流域地図及び河川レンジャー活動紹介パネル貸与 ○ヨシ笛を作ってみよう!案内書貸与 ○レンジャーニュース(No.16、No.17)提供
レンジャーの活動内容	○実施計画の立案 実施日、実施内容の検討 ○協働先機関、関係機関との調整 事前打ち合せ、内容確定 ○必要物品の準備 関係機関への貸与依頼 広報チラシの作成及び関係機関への伝達(図書館側)、参加者募集 工作物の下拵え 川の話パワーポイント資料の作成 ○活動の実施 川の話し講演 ヨシ笛工作の指導 参加者との交流 次週「さあ、川に出かけよう!」の事前紹介と、当日の服装などの準備説明

20.3 活動状況



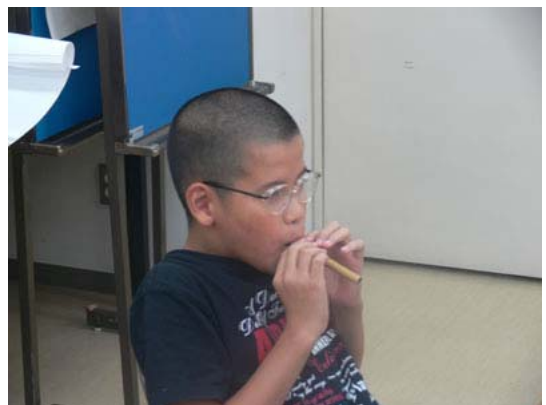
・ヨシ笛づくりの指導を受ける子供たち



・ヨシ笛づくりの工作風景



・熱心にヨシ笛製作を行う親子



・できあがったヨシ笛を吹く少年

20.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ○新淀川は近いけれども行った事がないので、来週は楽しみにしている。 ○近くの川で、貝やカニなどいろんな生きものが採れるのは知らなかった。 ○川には行くなと聞かされていたが、次回は楽しみだ。 ○皆んな！もっと川で遊んでほしい。(最年長の参加者)
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○参加者が少なかったことは残念だった。事前呼び掛けが、手ぬるかった。 ○案内チラシが、学校の夏休みに入ってから出来上がったのは残念だった。 ○協働の役割分担が不明確だったことで成果が乏しかった、反省と改善を要す。 ○人集めがむづかしい！ただチラシを置いてもらうだけでなく、特定の組織に参加要請を当て込む折衝が事前に必要と実感した。 ○川への興味は親が誘導しないと、低学年の子どもたちからは出て来ない。その親たちが、まず川の危険性を考える実情をどう打破するかが----今の課題。

21. 崎谷R・入門講座干潟体験

・平成23年8月28日(日)

21.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	淀川親子入門講座 干潟の体験「さあ、川に出かけよう」		
担当	毛馬出張所管内	崎谷河川レンジャー	
開催日時	平成23年8月28日(日)9:15~12:30		
参加人数	21名	21名	21名
	一般参加者	14名	大人7名、子ども7名
	河川レンジャー	1名	崎谷レンジャー
	講師	1名	横山達也氏(水道記念館管理課長)
	スタッフ	3名	大阪市水道記念館3名
	自治体 運営事務局	1名 1名	大阪市立北図書館館長
スケジュール	9:00 ~ 9:15 10:00 10:15 10:40 10:45 11:00 12:10 12:30	受付・レンジャーと館長による開会挨拶、活動要点の説明 (北図書館出発) (柴島干潟着)講師ほか水道記念館スタッフ紹介と観察上の注意点 講師による投網実演 捕獲の魚種確認と、生きもの生活史などの解説 干潟でウナギ採りの人にインタビュー ライフジャケット装着の実習 タモ網で魚採り・クロベンケイガニの捕獲・シジミ採り体験 (水道記念館着)淡水魚飼育室見学と解説 会議室にてレンジャー及び図書館長、講師による催しのまとめ 閉会の挨拶 解散	
実施場所	大淀コミュニティセンター～長柄橋～柴島実験干潟～水道記念館 		

21.2 事前活動

各種資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ レンジャー作成の、干潟での生きもの資料 ・ 水道記念館 各種パンフレット(自然豊かな淀川の明日、琵琶湖・淀川水系の魚、淀川の希少淡水魚)
関係機関からの支援内容	<p>河川事務所から</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ライフジャケット・スローロープ・タモ網・バケツ・救急セット、貸与 ○レンジャー幟・ハンドマイク、貸与 <p>水道記念館から</p> <ul style="list-style-type: none"> ○投網・捕獲魚収納の水槽・ウォータータンク、貸与 ○水道記念館会議室の借用
レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○実施計画の立案 実施日、実施内容の検討 ○協働先機関、協力機関、関係機関との調整 事前打ち合せ、内容確定 ○必要物品の準備 協力・関係機関への貸与依頼 (広報チラシの作成及び関係機関への伝達) ○事業計画に沿った下歩き調査 ○参加者勧誘、催し前のコース路清掃 ○活動の実施 参加者との交流 調達用材の洗い清掃、片付け [当日の確認魚種] ボラ、メナダ、スズキ、コイ、マハゼ、アベハゼ、ウシエビ、テナガエビ、ヤマトシジミ、クロベンケイガニ ヤマトシジミの水質浄化機能の確認

21.3 活動状況



10:15 干潟の溜まりで、講師による投網の実演



10:30 捕獲魚の種目確認と、生き物の生活史など解説



11:40 たくわん漬を用意してクロベンケイガニを捕獲、形状による科目や雄雌の解説



12:20(水道記念館)淡水魚飼育室の見学

21.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none">○投網で魚を獲るのが見れたのに感動した。ぼくもやってみたかった。大きなウナギが採れるのもビックリした。○タクアン漬けでカニが釣れるのは面白かった。○近くの川で、こんな大きなシジミが採れて、食べられる事に驚いた。○シジミの浄化実験、こんなに早くきれいな水に変わるのにはビックリした。○次は十三干潟にも行ってみたい。また呼んで下さい。○シジミ狩りをもっとしたかった。解散後に、もう一度干潟に戻って採りに行く。○ゴミが多く目に付くのが、気持ち悪く嫌だった。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none">○第1回目の川の話よりも、実際に川に行くことの方に興味が強い事が分かった。(2回連続が募集条件でも、2回目だけの参加者の方が増える。)○参加者はそれなりに楽しんでくれている様子が伺えた。今後の企画にもリピーターとなって、知人も引き連れて来てくれるように持っていきたい。○住まいする地域と川、身近な距離感を感じとってもらおうとの思いで図書館から干潟に歩いたが、真夏の計画としては少し無理があった。今後は干潟集合、現地解散で特定のプログラム(魚採り、又はシジミ狩りなど)を主体にした企画を考えたいと思う。

22. 水辺の安全講座

・平成 23 年 6 月 22 日(水)

22.1 実施状況

<テーマ：河川レンジャー研修>

テ ー マ	河川レンジャー活動を実施するにあたり、水辺で行う活動の危険や危険防止の知識の復習・技術向上を図る。		
担 当	事務局（河川レンジャー研修）		
開催日時	平成 23 年 6 月 22 日(水) 13:30～18:00		
参加人数	参加総数	37 名	
	河川レンジャー	10 名	酒井、山田、石山、中川ゆ、田中、上田、崎谷、福井、山村、谷岡（敬称略）
	河川レンジャー関係者	11 名	レンジャーアドバイザー及び協力スタッフ
	講師	1 名	田中謙次氏（RAC トレーナー）
	事務局関係	15 名	淀川河川事務所及び運営事務局関係者
スケジュール	11:00	会場設営（中央流域センター）	
	13:15	受付開始	
	13:30	オリエンテーション及び参加者全員による自己紹介	
	14:50	DVD「ワル河童を探せ」を視聴後、河川における危険な場所について全員で議論を行った。	
	16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の死亡事故につながった活動事例とその判例を基に、下見、注意、監視、その他の視点での問題点と改善策についてグループで議論した。 ・グループごとに議論内容を報告、参加者全員で結果を共有した。判決の予想や判決についての感想を述べ合った。 	
	17:20	講座全体のふりかえり	
	18:00	終了 (希望者のみ、即席スローロープ講習を実施)	
実施場所	<p>中央流域センター</p>		

22.2 事前活動

各種資料	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム作りの基礎知識 ・DVD「ワル河童を探せ！」川に学ぶ体験活動協議会 ・活動事例及び判例検討資料 <ul style="list-style-type: none"> ・現場見取り図 ・ワークシート① ・ワークシート② ・RAC 川に学ぶ体験活動リーダー養成講座資料 ・「水辺のリスクマネジメント講座」へ参加された方へ（アンケート） ・RAC 登録票
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・淀川河川事務所：事務所内の情報提供、参加者募集 ・川に学ぶ体験活動協議会：企画協力、リスクマネジメント講座修了証発行（希望者のみ）
事務局の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○実施計画の立案：実施日、実施内容の検討 ○参加の案内：参加案内の作成、配付活動 ○必要物品の準備 ○関係機関及び講師との調整：事前打合せ ○活動の実施：開会、閉会の挨拶、司会進行、参加者との交流、アンケート

22.3 活動状況



・オリエンテーション



・グループワークによる活動事例と判例検討

22.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・セルフレスキューの重要性が分かった ・実際の判例に基づく講義が分かりやすく、実践的でとてもよかった。 ・わかりやすかったし、いろんな人としゃべれた。 ・裁判と(判例)の部分。現実に起こったらどうなるかが良かった。 ・川での危険箇所を学んだ ・水辺での安全確認、危険管理について理解を深めた。自己責任の重要性について再認識した。 ・忘れたことを思い出せる(安全対策) ・川での活動について、問題点が良く理解できた。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・田中講師の話が分かりやすく、アンケートからも参加者によく理解していただけたことが読み取れ、有意義な機会が作れたものと思われる。 ・本講座を受講していないレンジャーへも同様の内容を伝えることが必要。 ・定期的に今回のような講座を開催し、スタッフおよび関係者の安全管理意識を高く保つことが重要である。 ・予定時間を超過した運営となり、一部参加者より苦情をいただいた。今後の時間管理に活かしたい。

